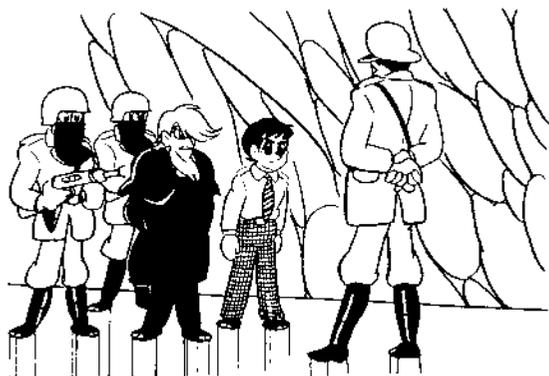


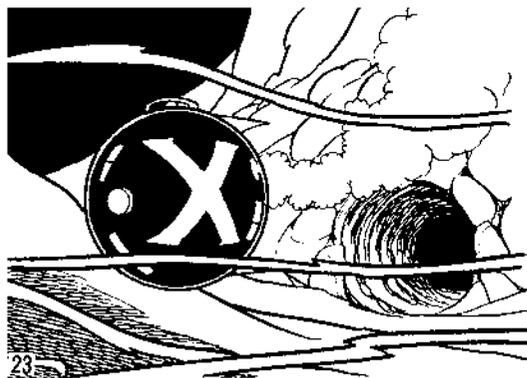
21

やむなく博士と健太郎は、未完成のロボットにのって、ぼうず岩をのがれるが、ロボットはこしょうして海中におち、ジェット海流にまきこまれてマファイ団の海底基地へはこぼれてしまふ



ふたりは、そこでマファイ団にとらえられてしまうが……

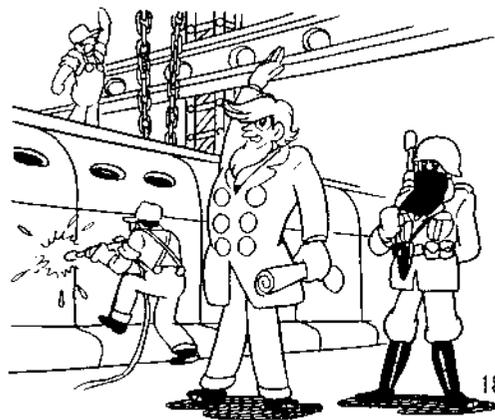
22



23

博士のおかげで、健太郎だけは海底基地をのがれることができる。だが、天馬博士は、ふたたびマファイ団のほりよになつてしまったのだ……

67



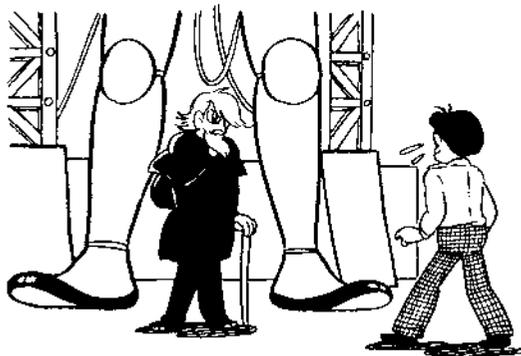
18

天馬博士は、すぐれた科学者だったが、研究費や材料をおしげもなくだすマファイ団のために、いつか兵器の生産にりようされていた……



19

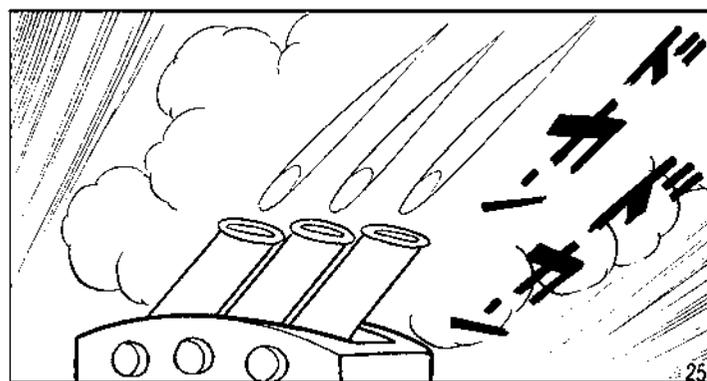
やがてマファイ団のおそろしさをしった博士は、そこらのがれて洋上のぼうず岩にかくれ、強力な脳波ロボットをつくつて、マファイ団に戦いをいどもうとする……



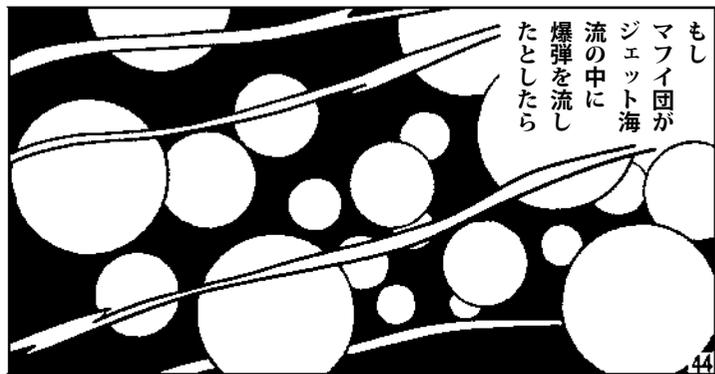
20

健太郎はそのぼうず岩で、製造ちゅうのロボットをみせられておどろく……しかし、そのぼうず岩もマファイ団の潜水戦艦に発見されてしまった……

66

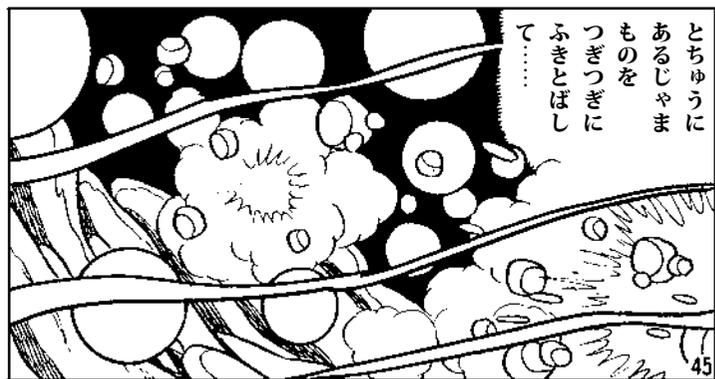






もし  
マファイ団が  
ジェット海  
流の中に  
爆弾を流し  
たとしたら

44



とちゅうに  
あるじやま  
ものを  
つきつきに  
ふきとばし  
て……

45



みごとな  
海のみぞが  
できあが  
る

46



40



あつめた泥  
の中に 無数  
の鉄のかけら  
がみつかった  
しかもわずか  
だが火薬の  
はんのうも  
検出できた

39



42

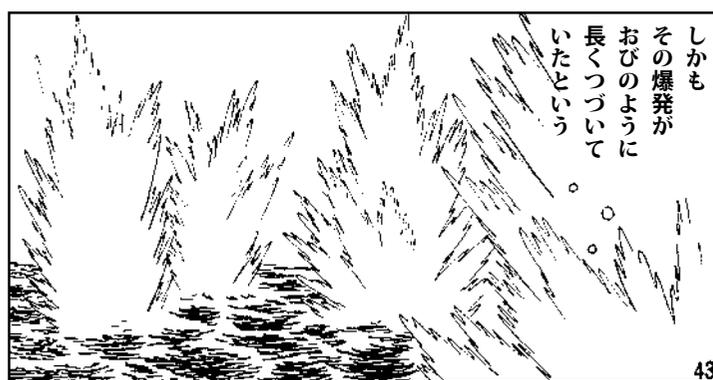
健太郎くん  
おぼえている  
だろう  
「いそなみ」が  
正体不明の  
怪球の爆発に  
であったのが  
あのへんだよ



41

すると  
爆発した  
とでも  
いうん  
ですか

うむ



43

しかも  
その爆発が  
おびのように  
長くつづいて  
いたという



